

今月の例会報告

WEB地域座談会を開催

新型コロナウイルスの影響は依然として消えないままですが、段々と日常生活は落ち着きつつあるところかと存じます。農経部会では食農連携機構様にお声掛け頂き、6/22(月)に農林水産省との地域WEB座談会を開催致しました。当日はWEB会議ツール「Zoom」を使用して十勝地方の農業経営者・関連企業経営者と霞が関を繋ぎ、現状の農業者向け支援策についてご説明頂いたのちに、現場生産者らとの率直な意見交換を行いました。生産者からは現場ならではの苦悩や現状の報告もあり、距離と立場を超えて有意義な情報交換の場になりました。今後もできるだけこういった取組を継続していきたいという声もあり、新型コロナで図らずも地方との距離の問題を解決する第一歩が踏み出されたとも感じられます。



↑ 同友会とかち事務所から参加した様子

今年度初の例会で十勝の現状を知る

7/9(木)、例年から約2か月遅れて2020年度初めての例会を開催することができました。日本政策金融公庫から帯広支店長兼農林水産事業統轄の山下 望氏と業務課長の岩崎悟之氏にお越し頂き、お話を頂戴しました。

テーマは「コロナ禍における十勝の現状と有効な支援策を学ぼう～農業者でも受けられる支援とは～」として、コロナ禍の十勝地域としての影響の有無や公的支援制度について岩崎課長からお話頂いたあと、この度のような感染症対策も含むBCP・危機管理とリスク管理について山下支店長からお話頂きました。

実際のところコロナ禍で影響を全く受けていない企業は少ないものの、大きな打撃を受けている企業は多くないという十勝の現状があり、今回の状況を糧に事業の見直しや新たな領域への一歩を踏み出したりと前向きに進んでいる経営者が十勝には多くいると地域の強さを再認識するとともに、今はあまり影響がなくても受けられる支援や使える制度はしっかり活用して来る長期化も予測される経済的影響に耐えうる強い企業づくりに向けて心構えを新たにしました。



また、中小企業の多くが策定できておらず、策定しても活用できていないBCPについてもお話があり、まずは「危機管理」と「リスク管理」をしっかりと分けて捉え、起きてほしくないことを防ぐためにどうするか、もし起きてしまったらどうするかを日頃から確認・練習しておかないといざという時には動けないと実際の事例も踏まえお話頂き、参加者からは非常にわかりやすく解説してもらったので自分たちにも始められそうと第一歩を後押しするような例会となりました。

今後の予定

● ついに活動再開へ

今後はZoomを活用し会場が密にならないよう例会を重ねるとともに、現地視察をふんだんに取り入れ、今だからこそ外に出向き現場から学ぼう！という例会を続々と企画中です。

7/9の例会でも10名以上がZoomで参加するなどオンライン活用の輪が広がってきています。新たなスタンダードのかたちとして顔を合わせる形とオンラインをいいとこどりして活動を広げていきます。

- ・7/29(水) 有福田農場視察例会(農業政策・環境グループ)
- ・10月以降 (株)かわい造園視察(農業政策・環境グループ)
- 通年雇用の取組(農業マネジメントグループ)
- 精密農業・可変施肥等(農業新技術グループ)
- 認証制度への取組(農業マネジメントグループ)